

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成30年11月20日

公表:平成31年3月25日

事業所名 儿童発達支援事業 どんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		・ひとつの部屋に集中しないよう個々のスケジュールを工夫している。パーテーションで区切り適切なスペースが確保できるよう工夫している。	・自由あそびの部屋に集中してしまうことがあるため、より個々のスケジュールの組み方を工夫し、改善していく。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		・目的ごとにスペースを分けたり、同じ場所でも机の向きを変えたり、場面が変わったことがわかりやすいように工夫している。	・バリアフリー化を必要としている子どもが現在はないため、適切である。必要な子どもの利用があった場合はトイレが課題。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		・活動室とあそぶ場所を分けている。活動に合わせて空間づくりができるようパーテーションなども使用して工夫している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		・参画している。職員間のコミュニケーションの活性化についても意識して取り組んでいる。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		・意向を職員間で周知し、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		・ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		・法人主催の勉強会、内部研修、外部研修などに参加し、職員の資質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		・保護者に児童発達支援計画作成にあたってのアンケートを記入していただきニーズや課題を共通理解し作成している。また子どもの興味関心も取り入れている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		・必要に応じて臨床発達心理士が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		・打ち合わせで児童発達支援計画を職員間で確認している。また事業所独自の評価シートを用意し、毎回保護者が計画を記入し、計画を意識して参加できるよう工夫している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		・静と動の活動を交互に取り入れるよう工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・打ち合わせは児童発達支援計画や前回の記録を用いて行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・振り返りを行い、気づいた点を記録に残し、次回の支援開始前に活用できるようしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・職員がとる記録の他、保護者にも記録をとっていただき、より充実した支援を提供することができるよう工夫している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・保護者支援も重視し、毎回短時間だが面談を実施している。その中で定期的なモニタリング以外でも必要に応じて計画の達成度を確認して判断している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	対象児がいない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	対象児がいない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	/	/	・現在は保育所などに通っている子どもが併行して利用しているため、対象児がいない。対象児がいれば行う。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて小学校へ訪問したり、就学相談へ同行したりしている。保護者には小学校に向けて支援シートやかけはしの作成について支援を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・幼稚園等の職員見学を受け入れたり、こちらから職員が訪問したりして情報交換を行っている。	・利用している子どもは保育所などと併行して通っているため、日頃から障害のない子どもと関わっている。よってこのような機会を充分得ていると判断している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、情報交換をして共通理解に努めている。おたより帳も活用している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアントトレーニングは法人で主催している。その他勉強会(地域生活支援公開講座などを実施し、保護者の対応力の向上を図っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法と一緒に考えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・懇談会を実施している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・いつでも相談を申し入れができるよう、児童発達支援計画に事業所内相談支援について記載している。また電話相談に応じている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月の予定表に必要な情報を載せて発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・注意している。また個人情報の取り扱い(提供)について契約時に保護者に同意を得ている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。保護者から話を伺うときは子どもに聞こえないよう配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・法人主催で松風園まつりを実施し、地域との交流を図っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルは見えるところに設置し、いつでも確認できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・グループを想定して職員間で月1回避難訓練を実施している。法人主催で年1回緊急招集訓練を実施している。	・グループ内で子どもと保護者とともに避難訓練を行うことができるよう計画していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		・確認している。親子グループのため、急な体調不良にも保護者と一緒に対応できる状況にある。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師の指示書の提出はないが事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・主に業務日誌の所定の欄に記載し、職員間周知している。また再発防止についても職員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・契約時に説明して同意を得ている。児童発達支援計画には記載していない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月25日

アンケート期間:平成30年8月1日～平成30年9月30日

事業所名 児童発達支援事業 どんぐり

保護者等数(児童数) 31 回収数 25 割合 80 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	3			・活動する部屋、あそびの部屋などわかれているのがとても良い。自由あそびの部屋に全員入ると狭い。	・自由あそびの部屋に子どもや保護者が集中してしまうことがあるため、より個々のスケジュールの組み方を工夫して改善していく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1			・十分に対応していただいている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	1			・スケジュールもわかりやすく提示されているので良い。 ・危険なものなど全くなく快適に過ごせている。 ・きちんと整理されていて集中できる環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25				・活動しやすい環境である。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24			1	・大変丁寧に作成していただいている。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24			1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	1			・本人に合わせた活動を毎回用意していただき楽しく学んでいる。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	1			・バリエーション豊かにやっていると思う。達成感もあり、本人の成長につながっていると思う。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	2	3	11	・どんぐりでは交流はないが、法人のおまつりで交流がある。	幼稚園等の職員との交流は必要に応じてしている。利用している子どもは保育所などと併行して通っているため日頃から障害のない子どもと関わっている。よってこのような機会を充分得ていると判断している。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1			・大変丁寧に説明していただいている。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	2			・大変丁寧に説明していただいている。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20	1	4		・子どもへの対応に対して助言をいろいろしている。・助かっている。 ・日々アドバイスをいただき、日常で実践している。大変助かっている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるか	25				・悩みや日々の工夫することなど何でも相談させていただいている。 ・毎回おたより帳をきちんと読んでくださり、アドバイスをいただけてとても助かっている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25				・毎回面談があるので支援が行われている。 ・面談の時間も十分とつてくださいり、とてもありがたい。 ・いつもアドバイスをもらい助かっている。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4	4		・定期的に懇談会を開いてくださいり、保護者の方々からのお話を聞けたり、先生からのアドバイスもいただけ嬉しい。 ・回数が増えると有難い。 ・グループ関係なく集まれる日がほしい。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	1		1	・いつも相談にのっていただき、私の心の安定になっている。本当にありがとうございます。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24			1		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21			3	・いつも丁寧にお知らせいただいている。	
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25				・十分です。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	3		5	・マニュアルは通所施設の入り口にわかりやすく提示されているので問題ない。 ・マニュアルの説明は受けているが、発生を想定した訓練が実施されているかはわからない。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4	4	10	・参加したことはないです。	・現在はグループを想定して職員間で月1回避難訓練を実施している。今後は子どもと保護者とともに避難訓練を行うことができるよう計画していく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25				・こちらへ通うことをモチベーションに日々過ごしており、本当に子どもと私の心の支えになっている。 ・日常を過ごす上での自信になっている。日によってムラがあるが楽しく通所している。	
	23	事業所の支援に満足しているか	25				・いろいろと対応してもらっているので満足している。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

どんぐり

事業者向け

平成30年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			・必要に応じてパーテーションで区切り、適切なスペースを確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		・室内はクッション材を用いて段差をなくすように工夫している。トイレや玄関などのバリアフリー化は課題。人手を確保して安全に運営できるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			・参画している。職員間のコミュニケーションの活性化についても意識して取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			・意向を職員間周知し、業務改善につなげている。昨年度の保護者等向け評価表にて懇談会希望の意向があり、今年度計画し実施した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			・ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			・法人主催の勉強会、内部研修、外部研修などに参加し、職員の資質向上に努めている。
支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			・必要に応じて臨床発達心理士が発達検査や知能検査をとり、その結果を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			・職員にアンケートをとり話し合って決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			・年間計画を作成し、調理、制作、外出、運動、ゲームなどの活動で組み立てている。あえて同じ活動を取り入れてくり返し行う経験を積んだり、新しい活動にもわかつて取り組む経験を重ねることができるよう、やることを視覚的に提示したりして支援している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		・土曜日は平日通所できない小、中学生のために開所している。長期休暇に応じた対応は年間回数を決めて行っている関係上、難しいことが現状。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input checked="" type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input checked="" type="radio"/>			・児童発達支援計画や前回の記録を用いて打ち合わせを行っている。記録用紙に「次回に向けて」という欄を作り、確認しやすいよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input checked="" type="radio"/>			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input checked="" type="radio"/>			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input checked="" type="radio"/>			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input checked="" type="radio"/>			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input checked="" type="radio"/>			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		<input checked="" type="radio"/>		・必要に応じて個別のケースについて学校との情報共有はしているが、保護者が送迎しているため、下校時刻の確認等については学校には行う必要がないことが現状。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	<input checked="" type="radio"/>			・現状は医療的ケアについては保護者が対応するようになっているが、支援が1時間半のため、医療的ケアの対応なく行えている。必要に応じて保護者の了承を得て主治医と連絡をとっていく。
関係機関や保	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input checked="" type="radio"/>			・必要に応じて行っている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		・現在移行のケースが発生していない。 ・発生した場合は必要に応じて連携を取っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input checked="" type="radio"/>			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			<input type="radio"/>	・交流や一緒に活動する機会は設けていないが地域生活への参加を見据えて日々支援にあたっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	<input checked="" type="radio"/>			・自立支援協議会には現在は法人内の他の事業所の職員が参加している。自立支援協議会主催の研修には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			<input type="radio"/>	・送迎時や面談にて情報交換し共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<input checked="" type="radio"/>			・ペアレントトレーニングは法人で主催している。その他、勉強会(地域生活支援公開講座など)を実施し、保護者の対応力の向上を図っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input checked="" type="radio"/>			・契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input checked="" type="radio"/>			・送迎時に保護者と情報交換し、悩みや困り感を共有。必要に応じて面談を実施している。また電話相談も受けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		・懇談会を実施している。(小学生グループ対象)法人主催でお父さん対象の懇談会も実施している。懇談会の回数を増やすことは現状では難しい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input checked="" type="radio"/>			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input checked="" type="radio"/>			・活動概要は年間予定表で伝えている。行事(松風園まつり)や勉強会(各種講座)については随時お知らせを配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	<input checked="" type="radio"/>			・注意して取り扱っている。個人情報の取り扱いについて契約時に保護者の同意を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input checked="" type="radio"/>			・視覚的に提示、肯定的に伝えるなど個々に配慮している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・法人主催で松風園まつりを実施し、地域との交流を図っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・グループを想定して職員間で避難訓練を実施している。法人主催で年1回職員緊急招集訓練を実施している。利用児の参加する避難訓練の実施について検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・契約時に説明して同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・医師の指示書の提出はないが、事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・主に業務日誌の所定欄に記載し、職員間に周知している。また再発防止についても職員で共有している。

どんぐり

保護者等向け

平成30年度 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	記入無し	主なご意見(抜粋)
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	56	7			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	63	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	38	21	4		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	61	3			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	47	16	1		<ul style="list-style-type: none"> ・同じことをやることも大事だと思う。 ・満足している。 ・昨年度と同じ活動があるので変化がほしい。 ・活動をもう少し難しくしてほしい。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	22	32		<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じない。 ・求めていない。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	64				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	62	2			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがどんな様子だったかをもう少し詳しく説明してほしい。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	64				<ul style="list-style-type: none"> ・よく相談にのってくれている。 ・解決につながる提案をしてくれる。 ・親にとっても子どもにとっても1番の理解者。 ・幼稚園のときのようにグループの時間内に先生に相談できるとよい
保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	40	19	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士で話し合いや情報交換ができる場があるのはとてもありがたい。 ・懇談会の回数をふやしてほしい。 ・テーマを決めて懇談会を実施するのはどうか。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	55	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を言ったことがないのでどちらとも言えない。 ・苦情など今まで特にない。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	61	2			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	48	16			<ul style="list-style-type: none"> ・グループ別のLINEグループを作っていただけると嬉しい。
	14	個人情報に十分注意しているか	61	4			
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	52	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・説明していただいた。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	記入無し	主なご意見(抜粋)
非常時等の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	41	19	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が月に1回訓練を行っていると聞き、災害時の対応に少し安心することができた。 ・事前に子どもに説明があった方が良いと思う。 ・年1回子どもがやる避難訓練があるとよい。 ・子どもへの伝え方のフォーマットがあると訓練まではできなくとも家で確認ができる。 ・小学校の避難訓練で満足しているので支援プログラムを1年間体験させたい。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	58	6			<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動日を毎回楽しみにしている。 ・多少不安なときもあるが見通しを伝えてもらうことで無理なく参加できている。 ・子どもが意欲的になれる環境を作ってくれりありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	58	6			<ul style="list-style-type: none"> ・相談、アドバイスが的確で満足している。 ・もう少し回数を増やしてほしい。 ・中学生も平日に利用できるとよいと思う。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。